創刊１００号になりました

みたか議会だより

第１００号　51・6・20
発行・三鷹市議会　三鷹市野崎３番の１　☎0422(44)0249

第３回臨時会

	新規	継続	可決	否決
議案	３	０	３	０
選挙	１			

51年5月17日

主な内容

100号記念特集
２・３面……………100号記念インタビュー
４　面……………私とみたか議会だより

富山庄衛 議長
両角宗武 副議長

市民の幸せ願いスタート

議長選挙の堂々めぐり風景＝本会議場で

第3回臨時市議会は5月17日開会され、正・副議長選挙、監査委員の選任同意を行なったあと、市長提出議案3件をいずれも原案どおり可決し、同日中に会期を終えた。正・副議長の選挙では、市議会始まって以来初の社・共コンビが誕生。議長に富山庄衛議員（日本社会党）、副議長に両角宗武議員（日本共産党）が就任した。監査委員には、木田孝平議員（民主クラブ）が選任され、市議会はこれに同意した。

議長選挙

議長に就任して1年たつ石川忠孝議員が5月17日慣例により議長を辞職。ただちに議長選挙が本会議の議題となった。このあと、しばらく休憩し、議長選挙の方法を協議するため幹事長会が開かれたが、議長選挙でいたずらに時間をかけるのは市民の幸せをねがう立場から好ましくないという空気が強く、会派間の人選、調整は予想外に早く進んだ。

午後6時40分本会議を再開、議長選挙に入った。富山庄衛議員（日本社会党）と白鳥貞蔵議員（新政会）の2議員が推せんされたため投票となり、この結果富山議員が当選した。社会党からは2人目の議長。なお、1日間だけの会期ですんなり議長が決まったのは異例のことである。

選挙の結果は次のとおり。

当選　富山庄衛議員　18票
次点　白鳥貞蔵議員　12票
投票総数　30票
有効投票　30票
無効投票　０票

副議長選挙

新議長が選ばれたあと、京谷章議員も慣例により副議長を辞職。引き続き、その日のうちに副議長選挙が行なわれた。両角宗武議員（日本共産党）と中島清次議員（新政会）の2議員が推せんされたため投票となり、両角議員が当選した。共産党からは、はじめての副議長。正・副議長が社、共両党で占められたのも、はじめてのことである。

選挙の結果は次のとおり。

当選　両角宗武議員　18票
次点　中島清次議員　12票
投票総数　30票
有効投票　30票
無効投票　０票

富山　庄衛氏

両角　宗武氏

木田　孝平氏

市議会議長
富山　庄衛氏

上連雀9～13～9。大正14年生まれ（51歳）・社会党所属。昭和38年から4期連続当選。副議長、文教委員長、議運、グランド建設、予算、決算の各委員長を歴任。現在、文教委員在任中。

市民と太いパイプで

就任のあいさつ　今回、議長の重責をになう身の引きしまる思いでいっぱいです。

三鷹も近代都市としての姿を整えはじめてから久しいのですが、まだ理想の形態と内容になっていないのが残念です。

市議会は住民意志の集積の場であり、市民生活を映す鏡であるわけですから、私たちは、皆様の声にこたえて市政を良くしていく舵手としての力をつくさなければなりません。

私は、市財政の危機突破、住民自治の発展、教育と福祉の充実を目標に、皆様と議会のパイプをより太くし、議長として頑張りますので一層の協力をお願い致します。

市議会副議長
両角　宗武氏

井の頭5～9～19。昭和5年生まれ（46歳）・共産党所属。昭和38年から4期連続当選。文教委員長、予算審査特別委員会委員長を歴任。現在総務委員に在任中。

市政は市民のもの

就任のあいさつ　このたび、わたくしは市議会副議長の任務につくことになりました。4期の議員経験を十分生かし、あらたな気概で頑張る決意です。

いま、地方自治は、地方自治復権という言葉がでるほど、ひじょうにきびしい情勢にあります。地方自治は本来住民のためにこそあるもので、これを真に住民のもの、三鷹市民のものにしなければなりません。

こうした地方自治の前進をはかるには、わたくし自身が副議長の立場で議会制民主主義を徹底して守りぬくことだと自覚しています。市民のみなさんのご協力を心からお願いいたします。

監査委員
木田　孝平氏

野崎325。昭和3年生まれ(48歳)。民主クラブ所属。昭和42年から3期連続当選。副議長、議会運営委員長、決算審査・ごみ問題各特別委員会委員長を歴任。現在総務委員に在任中。

市長専決を承認
50年度一般会計
補正予算第６号

50年度一般会計補正予算（第6号）は都補助金などを歳入に計上したもので、50年度の最終補正。本会議を招集して議決を得る余裕がなかったので、市長がすでに専決処分をしていた。市議会は5月17日の本会議で専決処分を承認した。

この補正で、1億1千894万円を追加して、50年度一般会計歳入歳出予算総額は145億5千197万円となった。

補正予算の内容は次表のとおり。

昭和50年度一般会計補正予算（第６号）のあらまし

第６号補正額	1億1894万円
予算総額	145億5197万円
○主な事業	（単位万円）
財政調整基金積立金	5,874
学校建設基金積立金	6,020
○主な財源	
都振興交付金	254
六中新築事業都補助金	720
学校建設債	5,300
特例法２条債	5,620

国保特別会計補正予算は原案どおり

51年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）は本会議で原案どおり可決された。50年度の国保会計の赤字7千678万円を51年度の歳入から繰り上げて埋め合わせるというのが補正予算の内容。

財源は国庫支出金4千678万円、51年度一般会計予備費から3千万円をそれぞれあてている。

質草までインフレ時代
公益質屋基金千600万円に

公益質屋の貸付基金を1千300万円から1千600万円に引き上げる「公益質屋事業貸付基金条例の一部改正」が本会議で原案どおり可決された。

改正された条例は6月1日公布され同日施行された。

なお、貸付基金は、50年2月臨時会で1千300万円に引き上げられたばかりである。

【参考】公益質屋の貸付基金の推移

昭和28年7月1日発足時	350万円
昭和41年4月1日	700万円
昭和46年4月1日	800万円
昭和49年8月15日	1千万円
昭和50年5月24日	1千300万円

本会議でのおもな質疑

議員　①貸付基金増額の理由は何か。②51年度当初になぜ増額の必要性が予見できなかったのか。

社会福祉部長　①50年度の貸付件数は49年度に対し約7％伸びており、1件あたり貸出額は17％伸びている。高価な質草が増えた。②50年度末の貸付残高は49年度末に比べ278万4千円伸びていて、うち123万1千500円が50年3月に増えたものだ。6月定例会に提案するのを早めて今回増額した。

会派の幹事長かわる
社会党、民主クラブ

去る5月17日から社会党議員団、民主クラブの幹事長が交代した。新しい幹事長は次のとおり。

社会党議員団幹事長　岩井　勇蔵
民主クラブ幹事長　飯田　光雄

新委員に10氏
議会運営委員

議会運営委員の任期満了にともない5月17日新委員10人が選ばれた。任期は1年。新しい顔ぶれは次のとおり。

議会運営委員（10人）
（新政会）　畑　治、白鳥貞蔵
○吉野金一郎、高麗伊勢松
（社会党）　岩井勇蔵、高谷真理
（共産党）　小川秀男、柳沢浩二
（公明党）　◎田中務一
（民主クラブ）　飯田光雄
◎は委員長、○は副委員長

ごみ対策委、委員長を改選

ごみ問題対策特別委員会は、木田委員が監査委員就任により辞任したので、次のとおり後任委員長を選出した。

委員長　京　谷　章（社会党）
（5月18日就任）

市民のくらしを守る会議

次の5議員が5月26日から就任した
児玉裕昭、柳沢浩二、飯田光雄
白鳥貞蔵、富山庄衛

交通安全推進協議会委員

次の4議員が6月1日から就任した。
高麗伊勢松、京谷　章、吉沼庫雄
両角宗武

文教委員長を改選

文教委員会は、富山委員長が議長就任により委員長を辞任したため、次のとおり後任委員長を選任した。

委員長　畑　　治（新政会）
（5月18日就任）

武蔵野・三鷹地区保健衛生組合議員

次の議員が5月17日から就任した。
吉　沼　庫　雄（民主クラブ）

監査委員に木田孝平氏

正・副議長選挙のあと、慣例により監査委員を辞任した池田兼一郎議員の後任に木田孝平議員（民主クラブ）が選任された。

5月17日、市長から「議会選出の監査委員に木田孝平議員を選任したいので、議会の同意を求める」との提案があり、本会議で賛成多数で同意したもの。

市議会では、前監査委員の辞任後あらかじめ議員全員協議会を開き、予備選挙で木田議員を監査委員に選出することに内定していた。

名誉市民　武者小路実篤氏

「この道より我を生かす道なし、この道を歩く」。独得の伸びやかな字とほのぼのとした絵で、市民に親しまれた名誉市民、武者小路実篤氏が4月9日死去された。90歳。

人道主義、隣人愛に裏づけられた「新しき村」は、大正リベラリズムの文学面での思想的結実といわれ、ざ折にめげない骨太の楽天主義は時として多くの市民を勇気づけてくれた。

市議会は4月17日本会議場で、悲しみのうちに生前の氏の功績をたたえ、哀悼のことばを決議した。

なお、そのあと、ご遺族を代表して武者小路辰子さんからお礼のあいさつを受けた。

市議会開会中
傍聴にどうぞ

6月25日（金）　議案審議
6月26日（土）・28日（月）　一般質問
いずれも午前９時30分から

……一般質問は各会派の議員が市政に関する質問をします。……